

「自分で」考えて行動すること

2学期がはじまりました。静かだった学校では、子ども達の元気な声が響き活気が戻ってきました。

夏季休業中に子ども達が事故なく過ごすことができたことは、一人一人安全に気をつけて過ごしていたことに加え、保護者の方や地域の方の温かい見守りがあってこそ、と思います。本当にありがとうございました。

この間に、学校ではトイレの改修工事が行われました。新しいトイレを見て、喜び子ども達の様子が見られ、本当に良かったと思っております。

さて、今年の高校野球は、星陵高校の奥川投手が話題となっていました。彼は時速154kmという速いボールを投げることができます。その速いボールを武器に決勝まで勝ち上がることができました。しかし決勝の試合で勝ったのは、履正社高校という高校でした。この高校は、3月に奥川投手に1点もとれず負けてしまった学校でした。

履正社高校の選手は、奥川投手を打つためにいろいろ考えたそうです。例えば、ピッチングマシーンを時速160kmに設定し、それに負けないバットスイングを鍛えることや、2ストライクまで追い込まれる前に、積極的に打っていく練習など、様々なことを行ったそうです。しかし、私が最も素晴らしいと思ったことは、履正社高校の選手達は、「自分たちで課題意識を持って取り組んでいた」ことだと思います。圧倒的にすごい奥川投手に出会ったため、そこから「どうしたら勝てるか」自分たちで考えて、あきらめずに練習に励んだことがこの夏の優勝につながったのではないのでしょうか。

本校でも、2学期は運動会を始め、様々な行事があります。ぜひ、子ども達も履正社高校の選手のように、自分で目標を定めて、諦めずに自分でどうやったら目標を達成できるか考えて取り組んで欲しいと思っています。子ども達がさらに大きく成長することができるよう、教職員一同支援していきたいと思います。

今後とも、保護者の方、地域の方のご支援・御協力をお願いします。

流山市立江戸川台小学校

校 長 上 原 和 浩